

公益社団法人 福井被害者支援センター

with you
あなたとともに

日本財団 助成事業
The Nippon Foundation

ポスター贈り物



公益社団法人
福井被害者支援センター
(新) 事務局長
川上 賢正

平成23年10月9日から、中村事務局長からバトンをうけて、新しく福井被害者支援センターの事務局長に就任いたしました川上賢正です。

これまで私は、福井被害者支援センターの副理事長という立場でしたが、事務局の実務には全く関わっておりませんでしたので、戸惑うことばかりです。又、私の本業の弁護士との兼務でございますので、何かとご迷惑をおかけする事も多々あると思いますが、できるだけ早く実務を覚え、支援活動に支障がでないよう、全力をかける所存でございます。みなさまご支援の程よろしく申し上げます。

私の弁護士活動を振り返ってみますと、犯罪被害者支援に深く関わっており、犯罪被害者支援は私のライフワークとっております。

のんびりとした田舎である福井においても、最近では、目を覆う様な悲惨な犯罪が増えてきたように思います。このような被害に遭われた方々のお話を聞かせて頂くと、私自身とても胸が痛みます。

そして、被害に遭われた方々の心痛を思うとき、少しでもお力になりたいと願っている今日この頃です。

被害者のための法制度はそれなりに充実してまいりました。その結果、直接支援といった分野を中心として、民間の支援団体としての支援センターの役割がどんどん重要性を増してまいりました。

支援センターとしての活動をするための必要な人材確保、そして活動を支えるセンターの財政問題等、検討すべき問題は山積しております。

その中で、微力ではございますが、問題解決のために、少しでも貢献できるよう力を注ぎたいと思います。

川上賢正 プロフィール

- ◆ 福井弁護士会 弁護士 24年目
- ◆ 福井弁護士会 犯罪被害者支援委員会 委員長
- ◆ 日弁連 犯罪被害者支援委員
- ◆ 全国被害者支援ネットワーク 理事 (東海北陸ブロック担当)
- ◆ 福井被害者支援センター副理事長
- ◆ 福井県犯罪被害者支援連絡協議会会長

福井県警察職員 賛助会員入会式



福井県警察職員から賛助会費を受け取る松原理事長

最多784人入会 ありがとうございました

犯罪被害者への支援の輪を広げようと、県警察の警察官や一般職員 784 人と親睦会 8 グループが、平成 23 年 9 月 2 日、福井被害者支援センターに賛助会員として入会し、会費 182 万円を頂きました。

松原六郎理事長は「会費はわれわれの運営の一助となっている。これからも責任を果たせるようにがんばりたい」と抱負を述べました。

市民の生活と安心、安全に責任を持つ自治体として、奈良市長が、越前市においても発生する可能性のある犯罪に伴う被害者等の支援について、犯罪被害者等基本法の理念にのっとり、各種施策を総合的に推進する為に、条例を制定する事となりました。

本年 9 月 6 日に第 1 回策定委員会が開催され、福井被害者支援センター理事の長谷川美香氏が委員長となり、センターの中村正和副理事長ら 7 人の策定委員で制定に向けて取り組みを本格化されています。現在、策定委員会では委員長を中心に活発な論議がなされており、被害者ニーズの把握や、基本法に基づく支援策の作成の他、越前市独自の新たな支援策が真剣に検討されています。

越前市のこうした取り組みが県下、各自治体に広がり、県民にとって、より安心して安全に暮らせる福井県となるよう強く願うものです。

福井被害者支援センター 直接支援員
中西 眞三（越前市在住）

犯罪被害者等支援条例に向けて

～越前市で本格的な犯罪被害者等支援 条例策定中～

越前市では、福井県内で初(北陸三県でも初)の本格的な犯罪被害者等支援条例を、平成 24 年 3 月制定に向けて越前市役所内関係課が、連携して取り組んでおります。

これまで、越前市議会において議員の方から、犯罪被害者等支援に向けての質問がなされ、



越前市犯罪被害者等支援条例策定委員会の様子

犯罪被害者支援講演会 & はあとふるコンサート

平成23年第2回県民公開講座が10月23日福井県生活学習館ユー・アイふくいで開催されました。

第一部では、本年度福井県警察と協働で県内の中学校12校と高校2校で開いた「命の大切さを学ぶ教室」の感想作文コンクールの表彰式と受賞者による朗読を行いました。

入賞者は下記の通りです。

最優秀賞

(高校生の部) 仁愛女子高等学校 1年 内山 光 さん

(中学生の部) 朝日中学校 1年 中山 愛奈 さん

優秀賞

(高校生の部) 福井商業高等学校 1年 嶋田 亜純 さん

(中学生の部) 丸岡南中学校 1年 川村 未紗 さん



福井県警察本部警務部長から表彰状を受け取る内山さん

第2部では、少年犯罪被害当事者の会代表の武るり子氏が「少年犯罪で息子を奪われた母の想い」という演題で講演し、当時は普通の生活が全くできなくなりましたことから、犯罪にあった直後から周りの支援が必要だと訴えました。また、聴講した中高生に向けて、「いじめにあったとき、いじめを見たときは、必ず大人や学校の先生に助けを求めてほしい」と呼びかけました。



武るり子氏



講演会会場の様子

また会場ではミニ「生命のメッセージ展」が開催されました。事件や交通事故などで理不尽に命を奪われたメッセンジャー11^{めい}命が立ち並び、命の大切さや尊さを訴えかけました。



被害者遺族のメッセージ文を読んでいる生徒さんたち

第3部は、鯖江中学校及び金津高等学校吹奏楽部、福井県警察音楽隊による演奏が行われました。演奏会では、生徒さんたちの歌やパフォーマンスなどもあり、会場はひととき楽しい雰囲気になりました。



鯖江中学校吹奏楽部の演奏の様子

センターニュース

犯罪被害者支援コンサート



福井県警察音楽隊の演奏に聞き入る買物客

9月17日 ショッピングシティーベルに於きまして、福井県警察音楽隊による「犯罪被害者支援コンサート」が開催されました。

「千の風になって」の演奏に合わせて犯罪被害者遺族の手記を朗読し、被害者支援を呼びかけました。



また県警マスコットのリュウミーちゃんも来場し、被害者支援センターを紹介するパンフレット等を配布しました。

高齢者交通安全推進大会



9月14日 敦賀市栗野地区の高齢者の方に向けた交通安全推進大会に於いて、「交通事故被害者遺族となって」という演題で、高齢者約100名の方に交通事故被害者遺族の実情や思いなどを話し、被害者にも加害者にもならないようにと、福井被害者支援センターの宮地が、講演致しました。

命の大切さを学ぶ教室

9月29日 金沢辰巳丘高校

全校生徒 約500名

10月25日 彦根市西中学校

全校生徒 約270名

上記2校に於いて講演いたしました。生徒たちはみな真剣な表情で耳を傾けていました。



金沢辰巳丘高校での授業の様子



発行日
2011年11月10日
発行者

福井県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 福井被害者支援センター
〒910-0017 福井市文京2丁目13-5 辻ビル3階
事務局 TEL 0776-88-0801 FAX 776-88-0820
ホームページ <http://www.fvsc.jp/>
eメール info@fvsc.jp

編集後記

今年で当支援センターは
10周年を迎えることと

なり、11月13日に記念式典が開催されます。

事務局も川上事務局長のもと、これからの10年に向けて新たな思いで邁進してまいりますので、皆さま今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。

また、今回の公開講座にお手伝いいただきました方々に心よりお礼を申し上げます。(宮地)